

齒科衛生士口演

HO-01



キーワード：歯周病，糖尿病，糖尿病性網膜症，BOP，HbA1c

【目的】過去の春季日本歯周病学会学術大会にて，我々は糖尿病専門クリニックに定期通院している糖尿病患者における歯周病の病態が糖尿病の病態に関連している可能性を報告した。今回因果関係の解析を行い，歯周病が糖尿病合併症に影響を与えるかどうか明らかにすることを目的とした。

【方法】横須賀市内の糖尿病専門クリニックに定期通院中の2型糖尿病患者104名を対象として，歯周病の検査を行った。検査項目はPPD，BOP，歯の動揺度，隣接面プラーク付着の有無とした。糖尿病の検査は歯周病検査日に行い，生化学的データは歯周病検査日直近のデータを使用した。糖尿病合併症の有無は内科カルテから抽出した。歯科関連行動はアンケートで確認した。

【結果】糖尿病性網膜症未発症群と比較して網膜症発症群で，BOPの割合は高値が認められた ($p=0.006$)。ベイジアンネットワークによる因果関係の解析の結果，BOPが糖尿病性網膜症の発症に直接影響を与えていることが示された。隣接面プラーク付着群では非付着群と比較して，HbA1cは高値が認められた ($p<0.05$)。1日の歯磨き回数が1回以下の群では2回以上の群と比較して空腹時血糖は高値が認められた ($p<0.0001$)。

【考察・結論】糖尿病専門医の管理を受けている糖尿病患者の場合，歯肉や歯周ポケット内の炎症を反映しているBOPが糖尿病性網膜症の発症に影響を与えている可能性が示された。また血糖コントロールと口腔清掃度の関連性が示された。糖尿病患者の糖尿病性網膜症発症を予防するには，糖尿病専門クリニックへの定期受診に加えて，歯科医院における継続的な歯周病の管理と，口腔内の炎症軽減を目指す患者指導が重要であることが示唆された。